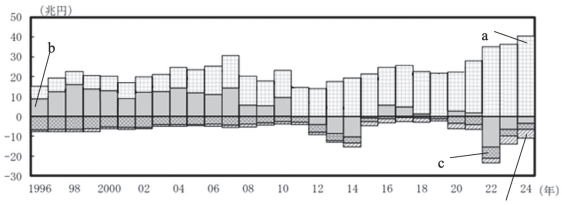
経 済 学・経 済 政 策

2026年合格目標 TAC教材

1 次完成答練 2　第 2 問

下図は日本の経常収支の長期的な内訳の推移を表している。図中の a ～ c に該当する収支項目の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



第二次所得収支

〔解答群〕

ア　a：貿易収支　b：サービス収支　c：第一次所得収支
イ　a：貿易収支　b：第一次所得収支　c：サービス収支
ウ　a：サービス収支　b：貿易収支　c：第一次所得収支
エ　a：第一次所得収支　b：貿易収支　c：サービス収支
オ　a：第一次所得収支　b：サービス収支　c：貿易収支

1 次完成答練 2　第 3 問

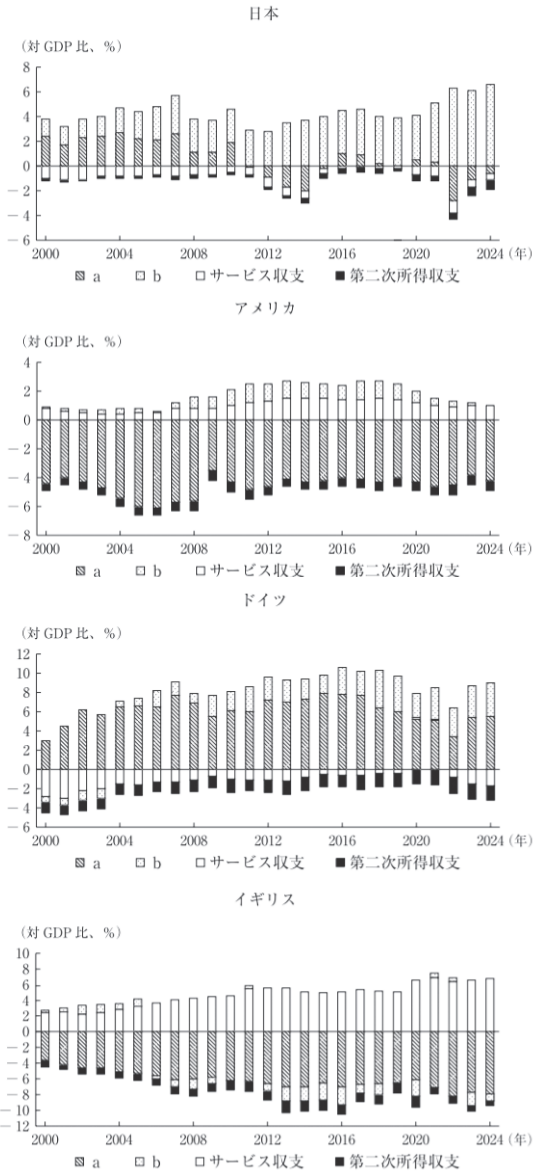
国民経済計算において GDP に含まれる要素として、最も適切なものはどれか。

ア　持ち家の帰属家賃
イ　中古品の売却収入
ウ　家事労働
エ　政府の移転支出
オ　株式の売買で得られるキャピタルゲイン

令和8年度 中小企業診断士1次試験

【本試験第 2 問】経常収支の国際比較

下図は、経常収支の国際比較（日本、アメリカ、ドイツ、イギリス）である。この図から読み取れることとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、図中の a と b は、貿易収支と第一次所得収支のいずれかを示している。



出所：内閣府『令和 7 年度版　経済財政白書』

〔解答群〕

ア　アメリカは、貿易収支が赤字であるが、第一次所得収支の黒字が大きく、経常収支は黒字の傾向である。
イ　イギリスは、貿易収支は黒字であるが、サービス収支は赤字である。
ウ　ドイツの経常収支の赤字は、貿易収支の赤字が原因である。
エ　日本は、第一次所得収支の黒字が経常収支の黒字に寄与している。

【本試験第 4 問】国民経済計算

国民経済計算の考え方に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　大学生が夏休みのアルバイトで得る所得は、混合所得に含まれる。
イ　共稼ぎ世帯の家事労働は、混合所得に含まれる。
ウ　分配面からみた GDP は、雇用者報酬と営業余剰・混合所得の合計に等しい。
エ　持ち家の帰属家賃は、営業余剰に含まれる。

1次公開模試　第5問

物価指数に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　GDP デフレータは、比較時点の数量を基準として物価を計算するパーシェ式により算出される。
b　消費者物価指数の対象には、家計の消費支出だけでなく、直接税や社会保険料などの非消費支出も含まれる。
c　企業物価指数の対象は国内取引だけでなく、輸出入取引も含まれる。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：誤　c：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：正　c：誤

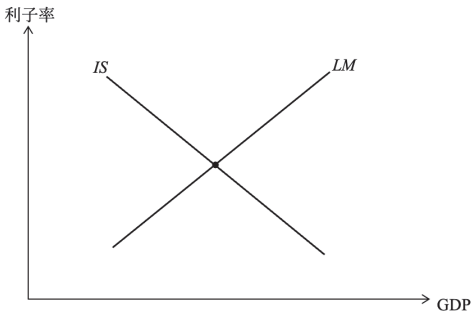
【本試験第5問】GDP デフレーター

GDP デフレーターに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　GDP デフレーターは、基準年次の名目ウェイトを基準にして計算されるので、ラスパイレス型の指数である。
イ　GDP デフレーターは、名目 GDP から実質 GDP を差し引くことで得ることができる。
ウ　内閣府は、物価の動きを捉えるために、GDP デフレーターを毎月公表している。
エ　名目 GDP の成長率よりも実質 GDP の成長率が小さいとき、GDP デフレーターの変化率はプラスである。

1次完成答練2　第11問

下図は *IS* 曲線と *LM* 曲線を描いている。*IS-LM* 分析に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 12



a　限界消費性向が大きいほど、拡張的な金融政策の効果は大きくなる。
b　投資の利子感応度が大きいほど、拡張的な財政政策の効果は大きくなる。
c　貨幣需要の利子感応度が大きいほど、拡張的な金融政策の効果は大きくなる。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：誤
イ　a：正　b：誤　c：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第7問】IS-LM 分析・流動性のわな

IS-LM 分析におけるクラウディング・アウトに関する記述として、最も適切なものはどれか。なお、ここでは縦軸に利子率、横軸に GDP をはかる平面を想定している。

ア　貨幣需要の所得弾力性が大きいほど、*LM* 曲線の傾きはより緩やかになり、政府支出の増加によって GDP を拡大させる際に生じるクラウディング・アウトも小さくなる。
イ　貨幣需要の利子弾力性が無限大のとき、政府支出の増加は、クラウディング・アウトなしで GDP を増加させる。
ウ　限界消費性向が大きいほど、*IS* 曲線の傾きはより緩やかになり、貨幣供給の増加によって GDP を拡大させる際に生じるクラウディング・アウトは大きくなる。
エ　政府支出の増加は利子率の上昇によるクラウディング・アウトを伴うが、減税はクラウディング・アウトを生じさせない。

1次公開模試　第11問

貨幣に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 13

a　中央銀行が買いオペレーションを実施するとマネタリーベースは増加する。
b　他を一定として現金預金比率が小さくなると、貨幣乗数は大きくなる。
c　日銀当座預金はマネーストックに含まれる。
d　貨幣乗数はマネタリーベースをマネーストックで除した値となる。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：誤　d：正
イ　a：正　b：正　c：誤　d：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正　d：正
エ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

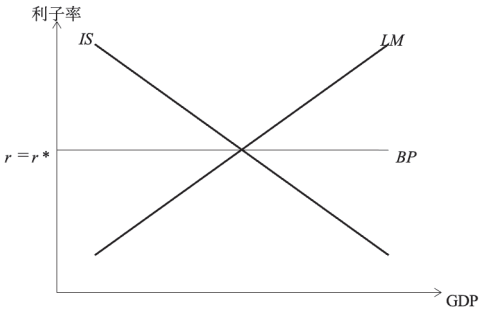
【本試験第8問】貨幣理論・貨幣乗数

貨幣理論に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　買いオペレーションは、市中銀行が保有する日本銀行当座預金の残高を増やすが、マネタリーベースを減らす。
イ　貨幣乗数は、常に1より大きい。
ウ　マネーストック統計における通貨保有主体のうち、最も保有割合の大きいのは中央政府である。
エ　預金よりも現金で通貨を保有する傾向が高まると、貨幣乗数は大きくなり、マネタリーベースの増加に伴うマネーストックの増加の程度も大きくなる。

1 次公開模試　第 10 問

開放経済下におけるマクロ経済モデル（小国モデル、完全資本移動、変動為替レート制、物価の硬直性、静学的な予想）について、下記の設問に答えよ。



（設問 1）

政府支出拡大の効果に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 11

a　為替レートは増価する。
b　消費支出は減少する。
c　GDP は増加する。
d　投資支出は減少する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：正
イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤
エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

1 次上級答練　第 4 問

需要の価格弾力性（絶対値）に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　需要曲線が横軸に水平な直線である場合、需要の価格弾力性は無限大である。
b　ある財の需要曲線が右下がりの直線である場合、この財の需要の価格弾力性は、価格水準に関わらず一定である。
c　需要の価格弾力性がゼロであれば、価格を上昇させても生産者の収入は増加しない。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤
イ　a：正　b：誤　c：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第 9 問】マンデル＝フレミング・モデル

完全資本移動かつ小国を想定した場合のマンデル=フレミング・モデル（*IS-LM-BP* 曲線分析）の考え方に関する記述の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、ここでは縦軸に利子率、横軸に GDP をはかる平面を想定している。

a　国際的な資本移動が利子率に対して完全に弾力的なとき、*BP* 曲線は垂直になる。
b　この国が固定相場制を採用しているとき、拡張的財政政策は、国内利子率の上昇による資本流入を招き、自国通貨高による純輸出の減少をもたらすため、GDP は増加しない。
c　この国が変動相場制を採用しているとき、拡張的金融政策は、国内利子率の低下による資本流出を伴うが、自国通貨安による純輸出の増加をもたらすため、GDP は増加する。
d　閉鎖経済の場合と比べると、*IS* 曲線はより急な形状であるが、*LM* 曲線は同じ形状である。

〔解答群〕

ア　a と b
イ　a と d
ウ　b と c
エ　c と d

【本試験第 13 問】需要の価格弾力性

需要の価格弾力性（絶対値）に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

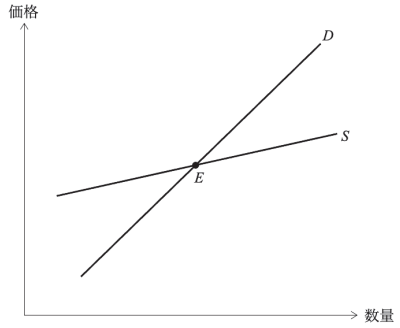
a　需要曲線が右下がりの直線であれば、直線上のどの点においても需要の価格弾力性は一定である。
b　需要の価格弾力性が 1 であれば、価格が変化したとしても消費者の支出額は変化しない。
c　需要の価格弾力性が 0 であれば、需要曲線の傾きも 0 である。
d　需要の価格弾力性が 1 より小さければ、価格の上昇によって消費者の支出額は増加する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：誤　c：正　d：誤
イ　a：正　b：誤　c：誤　d：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤
エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

1次完成答練2　第17問

右上がりの直線である需要曲線Dと供給曲線Sが描かれている（供給曲線のほうが需要曲線よりも傾きが緩やか）。交点は点Eである。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

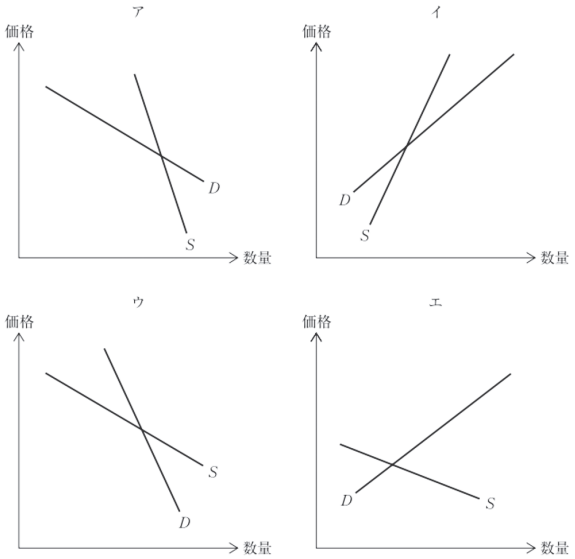


a　生産量が拡大するにつれて、限界費用は増加する。
b　マーシャル的調整を通じて点Eへ収束する力が働く。
c　ワルラス的調整を通じて点Eへ収束する力が働く。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：誤　c：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第14問】ワルラス安定性

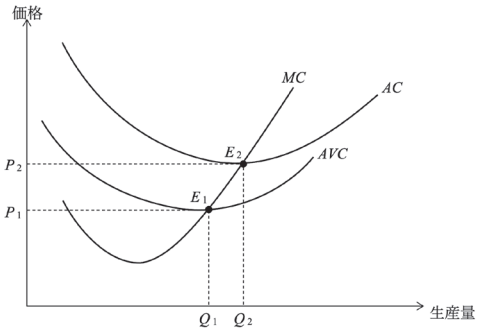
市場が均衡から外れたときに、元の均衡に戻る力が働けば市場均衡は安定的である。ワルラス安定的な均衡をもたらす需要曲線Dと供給曲線Sの形状として、最も適切なものはどれか。



1次養成答練　第2問

短期の完全競争市場における、価格と最適生産の関係を考える。下図には、限界費用曲線MC、平均費用曲線AC、平均可変費用曲線AVCが描かれている。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 2



a　価格がP_1より低い場合、操業を停止することで損失を固定費用のみに抑えることができる。
b　価格がP_1とP_2の間である場合、可変費用の一部が回収できなくなる。
c　価格がP_2より高い場合、総費用が総収入を上回る。

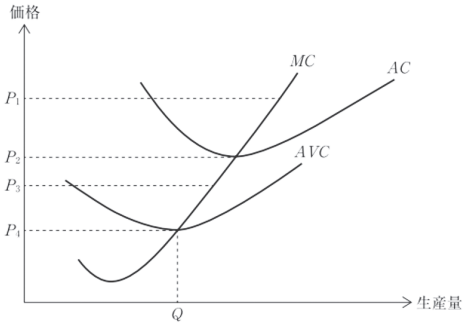
〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第17問】短期費用曲線と損益分岐点・操業停止点

企業の短期費用曲線を想定し、価格水準と企業の損益との関係を考える。

下図には、限界費用曲線MC、平均費用曲線AC、平均可変費用曲線AVCを描いている。なお、P_2、P_4はそれぞれACの最低点、AVCの最低点に対応している。

この図に関する記述の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

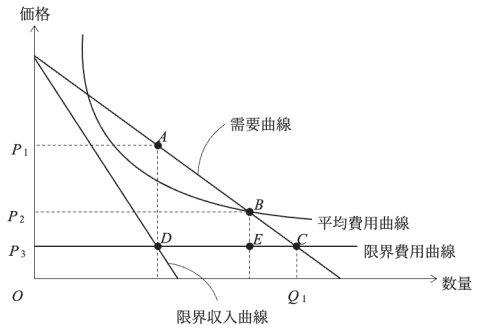


a　価格がP_1のときの最適生産においては、収入は総費用を上回っている。
b　価格がP_2のときの最適生産においては、可変費用総額に相当する損失が発生している。
c　価格がP_3のときの最適生産においては、固定費用の一部に相当する損失が発生している。
d　価格がP_4のときの生産量をQとすると、固定費用総額と可変費用の一部に相当する損失が発生する。

〔解答群〕
ア　aとb
イ　aとc
ウ　aとd
エ　bとc
オ　bとd

1 次公開模試　第 18 問

下図は、平均費用が低減している生産物市場で、ある企業による自然独占が発生しているケースを示したものである。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 22



a　当該企業が利潤最大化行動に従って生産量を決定したとき、当該独占企業の生産者余剰は四角形 P_1P_3DA で示される。

b　平均費用価格形成原理の下で、当該独占企業の固定費用は四角形 P_2P_3EB で示される。

c　限界費用価格形成原理の下で、当該独占企業の損失は四角形 P_3OQ_1C で示される。

〔解答群〕

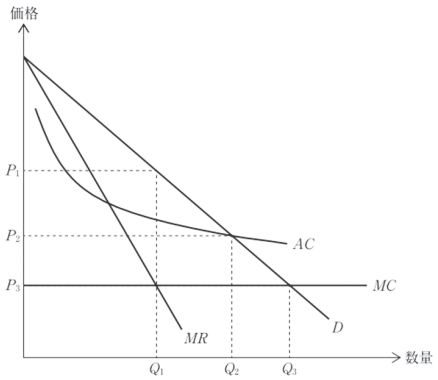
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第 19 問】費用逓減産業（自然独占）

発足当初に巨額の設備投資が必要な産業は、「費用逓減産業」と呼ばれることがある。

下図には、この種の企業が提供するサービスに対する需要曲線 D、限界収入曲線 MR、平均費用曲線 AC および限界費用曲線 MC が描かれている。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　パレート効率が実現する価格と生産量の組み合わせは、P_3 と Q_3 である。

b　企業の利潤最大化が実現する価格と生産量の組み合わせは、P_1 と Q_1 である。

c　価格と生産量がそれぞれ P_2 と Q_2 であるとき、生産者余剰はゼロである。

d　価格と生産量がそれぞれ P_3 と Q_3 であるとき、この企業には固定費用に等しい損失が発生する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：正
イ　a：正　b：正　c：誤　d：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正
エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

1 次公開模試　第 21 問

情報の非対称性に由来するモラルハザードに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 25

a　保険契約において、病気がちな人しか保険に加入しなくなるのは、モラルハザードの例である。

b　情報を持つ側が情報を持たない側に積極的に情報を提供することをモニタリングといい、モラルハザードを回避する手段である。

c　自然独占のケースにおけるプライス・キャップ制の導入は、モラルハザードの回避に有効である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤
イ　a：正　b：誤　c：誤
ウ　a：誤　b：正　c：正
エ　a：誤　b：誤　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第 21 問】情報の非対称性（逆選択・モラルハザード）

情報の非対称性は、モラルハザードや逆選択などの種々の問題を引き起こす可能性があることが知られている。

こうした諸問題を回避することを意図した制度の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　社員による自社株の保有を上場会社が支援する従業員持ち株制度
b　すべての人に健康保険への加入を義務付ける国民皆保険
c　配慮が必要な人を対象にして公共交通機関で設定される優先席
d　万国郵便連合加盟国において採用される郵便番号制度
e　フリーマーケット・アプリにおける出品者の評価制度

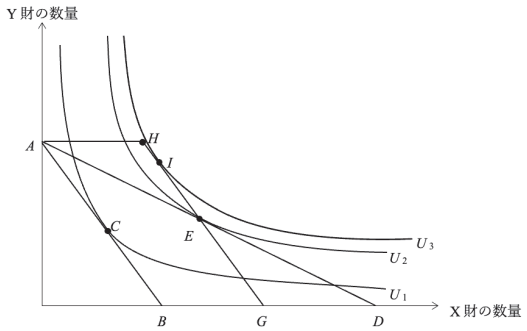
〔解答群〕

ア　aとbとc
イ　aとbとe
ウ　bとcとd
エ　bとdとe
オ　cとdとe

1次公開模試　第14問

2財モデルにおけるX財の消費を促進するための政策について考える。当初の家計の予算制約線はAB、最適消費点はCで与えられている。政府は補助金の給付方法として、定率補助（X財の消費量に対して、その費用の一定割合を政府が負担する補助金の制度）と定額補助（下図のH点の水準までのX財の消費量に対して、その費用の全額を政府が負担する補助金の制度）のいずれかを行うものとする。定率補助の場合の予算制約線はADとなり、無差別曲線U_2と点Eで接する。また、定額補助の場合の予算制約線は折れ線AHGとなり、無差別曲線U_3と点Iで接する。

下図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 16



a　定額補助の補助額によって購入できるX財の数量はHGで示される。

b　定額補助のほうが、定率補助よりも家計の効用は高まる。

c　定額補助のほうが、定率補助よりもX財の消費促進に適した政策である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正

エ　a：誤　b：正　c：誤

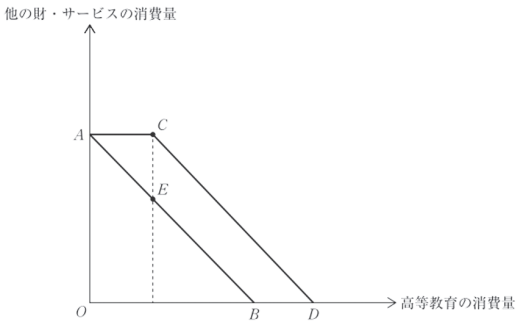
オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第22問】消費者選択における代替効果・所得効果

下図で、高等教育の無償化が家計の消費に与える影響を考える。この図の横軸は高等教育の消費量、縦軸は高等教育以外の財・サービスの消費量を測っている。また、図を簡略にするために、無差別曲線は省略している。

この家計の当初（高等教育無償化の実施前）の予算制約線はABである。政府は、高等教育無償化政策によって、BDの高等教育をこの家計に無償で提供する。高等教育無償化の実施後には、この家計の予算制約線はACDになる。

この図から読み取れることに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　高等教育の無償化によって家計の消費点が点Aから点Cにシフトしたとすれば、この家計は無償化政策のおかげで高等教育を受けられるようになったといえる。

b　高等教育の無償化の前後で家計の消費点が点Aのまま変わらないとすれば、この家計が高等教育を受けないのは、高等教育に要する支出が理由ではないといえる。

c　高等教育の無償化によって家計の消費点が点Eから点Cにシフトしたとすれば、この家計は高等教育の無償化によって、高等教育の消費量を増やすと同時に、他の財・サービスの消費を増やすことができるようになったといえる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：誤　b：正　c：正

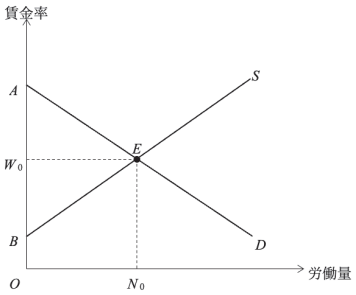
エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正

1 次公開模試　第 16 問（設問 2）

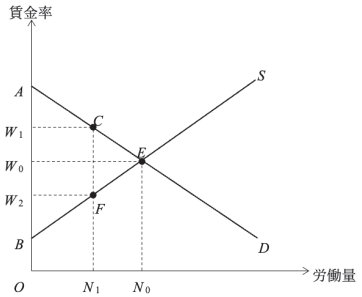
労働市場を示した下図において、D は労働需要曲線、S は労働供給曲線であり、点 E で均衡し、そのときの均衡賃金率は W_0、均衡労働量は N_0 である。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問 2）

下図のように、この労働市場に最低賃金率を設定する。この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。 19



a　最低賃金率を W_1 に設定すると、市場均衡と比較して、企業の余剰は四角形 W_1W_0EC の分だけ減少する。

b　最低賃金率を W_1 に設定すると、市場均衡と比較して、社会的総余剰は三角形 CFE の分だけ減少する。

c　最低賃金率を W_2 に設定すると、市場均衡と比較して、企業の余剰は四角形 W_0W_2FE の分だけ減少する。

d　最低賃金率を W_2 に設定すると、市場均衡と比較して、社会的総余剰は三角形 CFE の分だけ減少する。

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と c

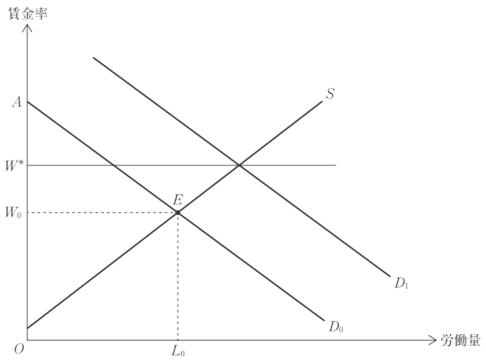
ウ　b と c

エ　b と d

オ　c と d

【本試験第 24 問】最低賃金制度

下図は、労働市場の需要曲線と供給曲線を示している。D は労働需要曲線、S は労働供給曲線であり、均衡賃金率は W_0 である。なお、W^* を最低賃金とする。この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　最低賃金の導入は、労働需要曲線の D_0 から D_1 への右方シフトと等しい総余剰を実現する。

イ　市場均衡における労働者の余剰は、三角形 AW_0E である。

ウ　政府が最低賃金を導入すると、企業の余剰は増加する。

エ　賃金率が W_0 のとき、企業が労働者に支払う賃金の総額は四角形 OW_0EL_0 である。

オ　労働需要の拡大により労働需要曲線が D_0 から D_1 に右方シフトしても、企業の余剰は変化しない。

1次養成答練　第12問

いま、A国とB国間の貿易において、各国が自由貿易を選択するか、それとも保護貿易を選択するか、を迫られているとする。下表は、このときの利得を表したものである。

両国が自由貿易を選択すれば、ともに40兆円の利益を得る。しかし、一方の国が保護貿易を選択すれば、当該国の利益は50兆円であるが、自由貿易を選択する他方の国の利益は13兆円である。さらに、両国が保護貿易を選択すれば、両国の利益はともに15兆円である。

この表に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 12

		B国	
		保護貿易	自由貿易
A国	保護貿易	A国：15兆円 B国：15兆円	A国：50兆円 B国：13兆円
	自由貿易	A国：13兆円 B国：50兆円	A国：40兆円 B国：40兆円

a　B国が保護貿易を選択するとき、A国は自由貿易を選択することでA国の利益を大きくする。

b　両国ともに自由貿易を選択することが支配戦略である。

c　ナッシュ均衡の解は、両国が保護貿易を選択することであり、パレート最適になる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：誤　c：誤

ウ　a：誤　b：正　c：誤

エ　a：誤　b：誤　c：正

オ　a：誤　b：誤　c：誤

【本試験第25問】貿易政策のゲーム理論

A国とB国が相互に貿易を行う状況を想定し、両国政府の政策選択を戦略とするゲームについて考える。以下の表は、両国政府が採用する政策の組み合わせに応じた各国の利得（国民の経済厚生）を示したものである。カッコ内の左側がA国の利得、右側がB国の利得を示す。

このゲームに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

		B国の政策	
		自由貿易	保護貿易
A国の政策	自由貿易	(60, 60)	(10, 80)
	保護貿易	(70, 15)	(20, 20)

a　両国がともに保護貿易を採用した状態からA国のみが自由貿易を採用した状態への変化は、パレート改善である。

b　両国がともに自由貿易を採用した状態からB国のみが保護貿易を採用した状態へ変化すると、A国の利得が減少する。

c　両国がともに保護貿易を採用した状態から両国がともに自由貿易を採用した状態への変化は、パレート改善である。

d　ナッシュ均衡は、両国がともに自由貿易を採用した状態である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正　d：正

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤